



令和5年 第5回苅田町議会定例会

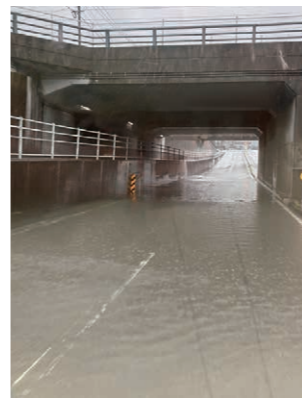
町政報告

遠田町長は令和5年苅田町議会9月定例会開会日の8月25日、次のように町政報告を行いました。(文字数の関係で内容を一部省略しています)

大雨への対応

6月末、九州北部地方では梅雨前線の停滞により、各地で大雨となりました。本町でも断続的に激しい雨が降り、6月30日から7月10日までの総降雨量は528mmでした。

6月30日、7月3日・8日・10日には町内に大雨警報が発表され、さらに、7月1日と10日の未明には土砂災害警戒情報が発表されたため、避難指示が発令されました。各公民館、総合福祉会館の5ヶ所を避難所として開設し、延べ5世帯7名の方が避難されました。また、避難所の開設等、大雨への対応にあたった職員は延べ122名でした。



町内の被害の状況ですが、法面の崩壊、土砂流れ、道路冠水

等が数件ありましたので現地確認、対応を行いました。人的な被害はありませんでした。

この大雨により、県内では大きな被害がでている自治体もあり、町村会を通じて人的支援の派遣協力要請があったため、2日間にわたり2名の職員を広川町に派遣しました。

令和4年度 一般会計決算

歳入は前年度と比べて3億9404万円減の165億6133万円、歳出は1億7595万1千円減の158億8887万5千円となっています。

翌年度への繰越財源を除いた実質収支額については、5億3900万9千円の赤字となり、令和4年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた単年度収支は2億9513万2千円の赤字となりました。

実質単年度収支については、3億4789万1千円の赤字となり、昨年に引き続き2年連続で赤字決算となりました。赤字の要因としては、将来の公共施設の整備費用に対応するため、公共施設整備基金に9億3853万6千円積み立てたことと、新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰対策として実施した事業の財源として、財政調整基金を5641万5千円取り崩したことに由来する。

歳入の内訳については、町税のうち、町民税の法人分が前年度と比べて8764万9千円の減となりましたが、町民税の個人分が前年度と比べて7840万3千円、固定資産税が4億5517万4千円の増となったことなどにより、町税全体では、4億8557万9千円の増収となりました。

その他、国庫支出金が、前年度に実施された国の子育て世帯臨時特別給付金事業が終了したことなどにより、9億893万6千円の減となったため、歳入全体では3億9404万円の減額となりました。

的経費が、公債費の減や子育て世帯臨時特別給付金の終了による扶助費の減などにより、前年度と比べて、6億4126万5千円の減となりました。

一方、一般行政経費は、物価高騰対策として水道基本料金減免事業を実施したことなどにより、前年度と比べて5億7562万1千円の増となりました。

投資的経費は、前年度の小中学校の特別教室空調設備設置工事や与原小学校の校舎増築工事が終了したことなどにより、前年度と比べて、2億7587万8千円の減となり、歳出全体では1億7595万1千円の減額となりました。

なお、財政の弾力性を判断する指標であります経常収支比率は、82.7%となっています。

「地方公共団体の財政健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率は、実質公債費比率が9.3%で、前年度と比べてほぼ横ばいとなりましたが、将来負担比率が17.6%となっており、前年度と比べて改善しています。

行事報告

自治功労者表彰式

6月27日、図書館AVホールで令和5年度苅田町自治功労者表彰式を開催しました。長年にわたり、苅田町の発展に多大な貢献をされた10名の方が受賞し、賞状と記念品を贈呈しました。



白石海岸清掃活動

7月2日、「海の月間」に合わせて、苅田まちづくり観光協会主催の清掃活動が白石海岸で行われました。清掃活動には、地元白石区の皆様をはじめ、苅田町漁業協

同組合や苅田港周辺に立地する企業、西日本工業大学の学生、関係行政機関など220名が参加し、ゴミ袋300袋分、重量にして約1トンのゴミが集められました。



アジア太平洋子ども会議イン福岡・苅田

7月18日から24日にかけて「アジア太平洋子ども会議イン福岡・苅田」の国際交流事業を4年ぶりに開催しました。韓国から4名の子ども大使と1名の引率者が、町内のホストファミリーの家庭において、ホームステイをいたしました。子ども大使らは、ホストファミリーの温かい歓迎を受け、7日間の滞在中に各小学校での交流活

動、水族館へのバスツアーなどを楽しみました。町の子どもたちにとっても、言葉・習慣・文化の違いを超えて、相互の国際理解を深める時間となりました。



同和問題強調月間人権講演会

7月22日、中央公民館で、同和問題啓発強調月間事業として人権講演会を開催しました。講師にLGBTQの当事者である弁護士南和行氏をお迎えして「同性パートナー弁護士夫妻のカラフルライフ」をテーマに講演をいただきました。参加された方からは「知らないことに心を開くことの大切さを知りました」など、多くの感想が寄せられました。